

対象年度		平成31年度						総合計画実施計画策定及び行政評価シート			
事務事業名		消防団活動事業						予算事業名		消防団活動経費	
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	消防組織法 消防法		
			09	01	02	0502	経常経費				
総合計画体系	2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)						事業の区分	主要事業			
	2-4安全に暮らせる安心なまちづくり(防災・防犯・安全)										
	④消防・救急体制の強化						担当課係等	防災安全課 消防防災係			
	2消防団の活性化と団員確保										
事業期間		継続 (平成27年度～平成33年度)									
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】				
消防団活動に要する装備品などを充実させることにより、消防団の処遇などの活動環境の改善を図る。							消防団員の安全性を守るための装備基準が見直されたことにより、消防団の処遇などの活動環境の改善を図る。				
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】				
消防団活動に関する装備品の充実、費用弁償、各種報償制度の実施、関連団体への負担金の支払等。 消防団車両へのドライブレコーダー設置 (第2・3・7・8・9・10分団車両)							結城市消防団員				
							【事業をとりまく環境の変化】 消防団員の装備基準が改正されたことにより、既存の装備品から新たな物に更新しなくてはならなくなった。				
【平成31年度 事業内容】			【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】				
装備品の購入(補充等) 消防団車両へのドライブレコーダー設置 (第1・4分団, 工作車, 広報車)			装備品の購入(補充等)				装備品の購入(補充等)				

■事業費

		H29年度	H30年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	281	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	30,425	28,498			
歳入計(千円)		30,706	28,498			
歳出内訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)			
	08 報償費	378	401			
	09 旅費	12,661	13,243			
	10 交際費	80	100			
	11 需用費	9,316	5,400			
	12 役務費	174	687			
	14 使用料及び賃借料	153	158			
	16 原材料費	0	18			
	18 備品購入費	0	307			
	19 負担金補助及び交付金	7,815	7,849			
	27 公課費	129	335			
歳出計(千円)(A)		30,706	28,498			
伸び率(%)			-7.19			
備考	総合計画 84 ページ 予算書 148 ページ					

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	費用弁償（水・火災出動）	件	目標	20.00	20.00	20.00
	消防団が水・火災出動件数		実績	36.00	0.00	0.00
	費用弁償（訓練・啓発活動等）	件	目標	250.00	250.00	250.00
	消防団が訓練、火災予防等の活動した件数		実績	280.00	0.00	0.00
成果 指標	消防団員数	人	目標	300.00	300.00	300.00
	結城市消防団本部、第1分団から第10分団、女性分団の総数		実績	268.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	地域における消防団の果たす役割は非常に大きい。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	
	手段の妥当性	A 妥当である	
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	消防団の負担を減らすべく、出動に関しては常備消防との連携を図っているため、費用弁償の抑制が図られている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	
進捗度	事業の進捗	C 遅れている	装備品に関しては、まだ十分ではない。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
装備品の購入に関して、財源の確保が厳しくなる。 			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか 装備品の購入計画に沿った購入に努める。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 消防団活動に不可欠な装備の充実、環境整備は事業継続と財源確保に努める。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	